

万引き犯人の視点から見た効果的な防犯対策

群馬県警察本部より「万引き犯人の視点から見た効果的な防犯対策」の情報がりました。これからの取り組みなど、万引き防止対策にお役立て下さい。

1 組織的万引きグループの行動

- ◎ 下見を行い、細かく分析
- ◎ 犯行の容易な系列店を見極め、集中的に狙う

2 犯人から見た万引きしやすい店舗

- ◎ 店員が少ない(特に、女性店員が多く、男性店員が少ない)
- ◎ 客に対するリアクションがなく、また、「いらっしゃいませ」等声をかける時客を見ない
- ◎ 対象商品である高額な化粧品、医薬品が置いてある
- ◎ 対象商品の棚が、レジやバックヤードから見づらい
- ◎ 店内の通路・棚の配置が複雑で、死角が多い
- ◎ 防犯カメラが少ない

3 万引き犯人から見た効果的な防止対策(組織的万引きグループのリーダーから聴取)

- ◎ 来店者への目を見た挨拶・声掛け
客の来店時、店内でのすれ違い時等に、しっかり目を見て挨拶する



犯人の心理

- ★ 目を見て声をかけられると、顔を見られたと言う心理的な不安が生じる
- ★ 無理をしてまでやらない

- ◎ バック所持者のチェック(通称:バックマーク)
不必要なバックを所持して来店する客に積極的な声かけやメロディブザーを使用



犯人の心理

- ★ 運び役は商品を持って店外に出るため、捕まれば言い逃れができないことから、一番、不安を感じている
- ★ 小さな障害でも犯行をためらう

- ◎ 店頭在庫を減らす
高額な化粧品・医薬品等は棚に実物を置かず、使用サンプル又はダミーの箱とする
※ 商品はレジ付近での陳列又はレジカウンター内の保管とする)



犯人の心理

- ★ 対象商品が少ないと盗む際の効率が悪く、また、商品がなければ当然ながら盗めない

◎ 商品棚・通路の配置

レジ付近から店舗内の奥まで見渡せる配置(シンプルな川の字の配置がベスト)
高額な化粧品・医薬品はレジ付近の棚か、レジ付近のケース内



犯人の心理

- ★ 死角がなく、従業員に瞬間的に犯行を目撃されてしまう可能性が高く不安
- ★ 複雑な棚の配置は死角が多く、安心して盗める

◎ 防犯カメラの増設

顔が写る低い位置で、可能な限り通路ごとに設置する



犯人の心理

- ★ 防犯カメラの死角がなくなると商品を隠匿しにくく、犯行しづらい
- ★ カメラの位置が低いと顔をはっきり撮影された気がして不安になる

◎ メロディーブザー

無線式のブザーをレジに設置するほか店員が所持し、店内に少しでも不審な者がいた場合は、直ぐにメロディーブザーを連続に鳴らす

※ 犯人以外には影響なし、対応中でも負担なく押せ、店員相互の連絡手段にもなる
店内のスピーカーを通して犯人に聞こえる音量で流す



犯人の心理

- ★ 通常では鳴らないブザーやメロディー音が連続して鳴ると不安になり犯行をためらう
- ★ 店員にマークされているのではないかと感じる

◎ 窓ガラスのマジックミラー化

バックヤード等の店舗内に面した窓・扉をマジックミラーにする



犯人の心理

- ★ マジックミラー越しに見られている気がして不安なり、マジックミラーから見える範囲では犯行を行えない

◎ 店舗間の連携

周辺店舗への通報制度を確立する(異なる系列店でも連絡体制の確保を)

※ 犯人は、カーナビの近接施設検索を利用して店を選定するため、10分程度で次の店に向かうので、店長同士だけでなく従業員でも直ぐに連絡できる体制を確立する



犯人の心理

- ★ 店に入った時点で警戒されていることが分かって犯行できない
- ★ 可能な限り、隣接する異なる系列店を狙った